

◆ 地震に強い家づくり ◆

# Hiダイナミック制震工法

○簡単施工 ○短工期 ○ローコスト ○メンテナンス不要

新築用

大地震、備えあれば倒壊なし



## お客様の声

震度6弱の揺れに耐えた耐震補強システムに感謝。

茨城県 T.Yさん 53歳

東日本大震災の当日、わたしは町内を歩いていて大きな地震に襲われました。長びく揺れに恐怖を感じて街路樹につかまって治まるのを待ちましたが、その後もずっと余震が続きました。道路には亀裂が入り、家々の屋根の瓦がズレたり落ちたりしていて惨憺たる有様。わが家もコンクリート塀に亀裂ができて、玄関前のマンホールの周囲が凹んで一時クルマが通れませんでした。幸い建屋をはじめ屋根瓦も異常なかったのは、周辺ではわが家くらいです。感謝の気持ちとともに今は心からほっとしています。

## 施工例

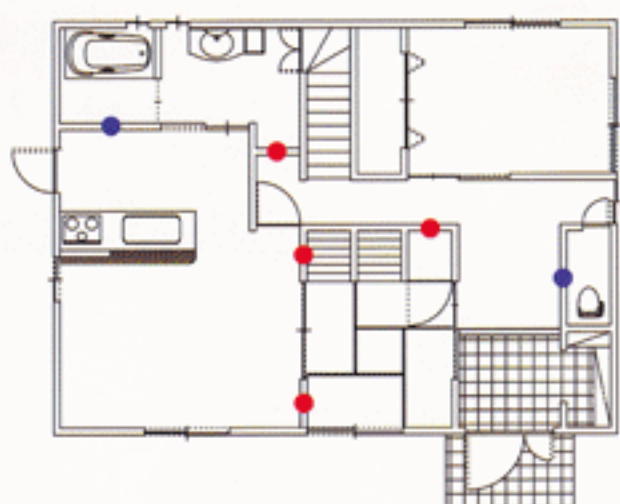
### 延べ床面積と「Hiダイナミック制震工法」設置箇所目安

江戸川木材では、地震がきた時の低減率を算出しています。「Hiダイナミック制震工法」は30坪相当の家なら4セットからでもOK！予算に合わせて納得の低減率をお選びください。

※建物によって特性が異なりますので、必ずしも表の低減率になるとは限りません。

1階部分だけでも効果は十分！

低減率(%)	装着本数(本)		
	1階	2階	合計
20~25%OFF ●	4	0	4
30~40%OFF ● + ●	6	0	6

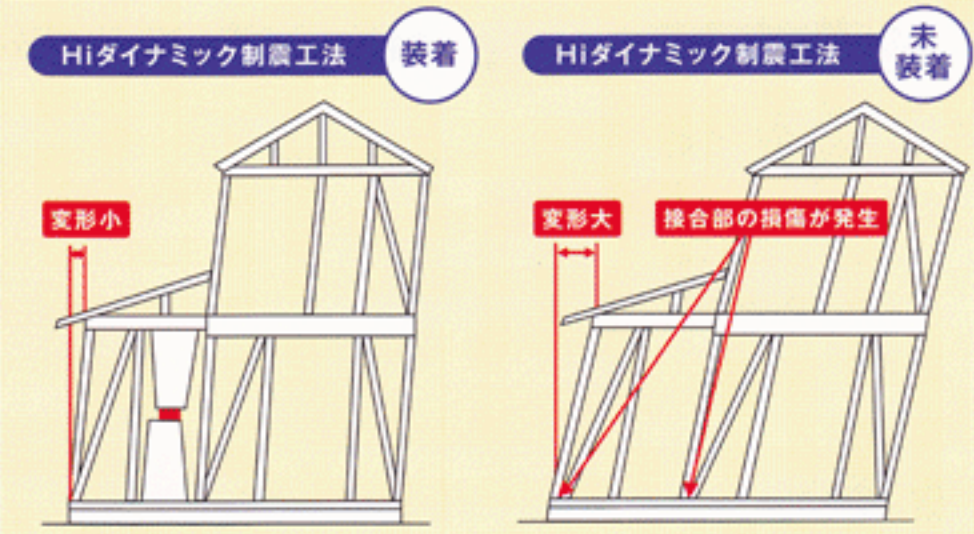


### 繰り返される余震の揺れをそのつど吸収することができます

大地震時の住宅の倒壊の原因は、本震の後に必ず繰り返し起こる余震の震動にあります。地震対策は、本震だけでなく余震にも対応できるものでなくてはなりません。右の図は阪神淡路大震災に相当する震動を「Hiダイナミック制震工法」を装着した建物と未装着の建物に与えた時のイメージ図です。オイルダンパは繰り返し動作時の性能再現性に優れ、連続して発生する様な大地震に対しても有効に作用します。

「Hiダイナミック制震工法」は建物に与えられた地震力をオイルダンパにより吸収することで、倒壊や構造部材の損傷を防ぐ働きをします。

「Hiダイナミック制震工法」を装着した家とそうでない家に  
本震 + 余震 を想定した加震実験を行うと…



ご相談・お問い合わせ

株式会社 フジモト剛建

藤本 正信

徳島県三好郡東みよし町星間1355-3  
〒771-2501  
TEL 0883-79-3169  
FAX 0883-79-3499  
携帯 090-6504-2133  
E-mail shikoku.dream@sunny.ocn.ne.jp



【開発】

江戸川木材工業株式会社

〒136-8630 東京都江東区新木場1-3-16

H P: <http://www.gensin.jp/>

TEL: 03-3521-3190 FAX: 03-3521-3170

【技術協力】

日立オートモティブシステムズ株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1

新大手町ビル



# いつ来るかわからない震災、しっかり備えて安心ライフを。

重大な被害をもたらせた東日本大震災。  
大きな地震への確かな備えは、これからの「家づくりの当たり前」です。

日本の観測史上最大のマグニチュード(Mw)9.0を記録した東日本大震災を経て、日本中が復興へ、そして次の大地震への備えに全力をあげています。

今後、東海地震の発生する可能性が30年以内に87%と非常に切迫しており、それが東南海、南海地震などと連動して起きることも予想されています。地震調査研究促進本部(本部長/科学文部大臣)の調査によれば、今後30年以内に震度6弱以上の揺れに襲われる確立の高い地域がほぼ全国に渡って存在しています。ただ、地震には備えることができます。

どんなに大きな地震が来ても、家の被害を最小限に抑え、住む人の尊い命を守ることができます。

Hiダイナミック制震工法なら揺れを低減。  
地震による被害を最小限に抑え、二次災害も軽減します。

新築時の  
耐震性能

制震工法  
揺れを抑える

地震に  
強い家

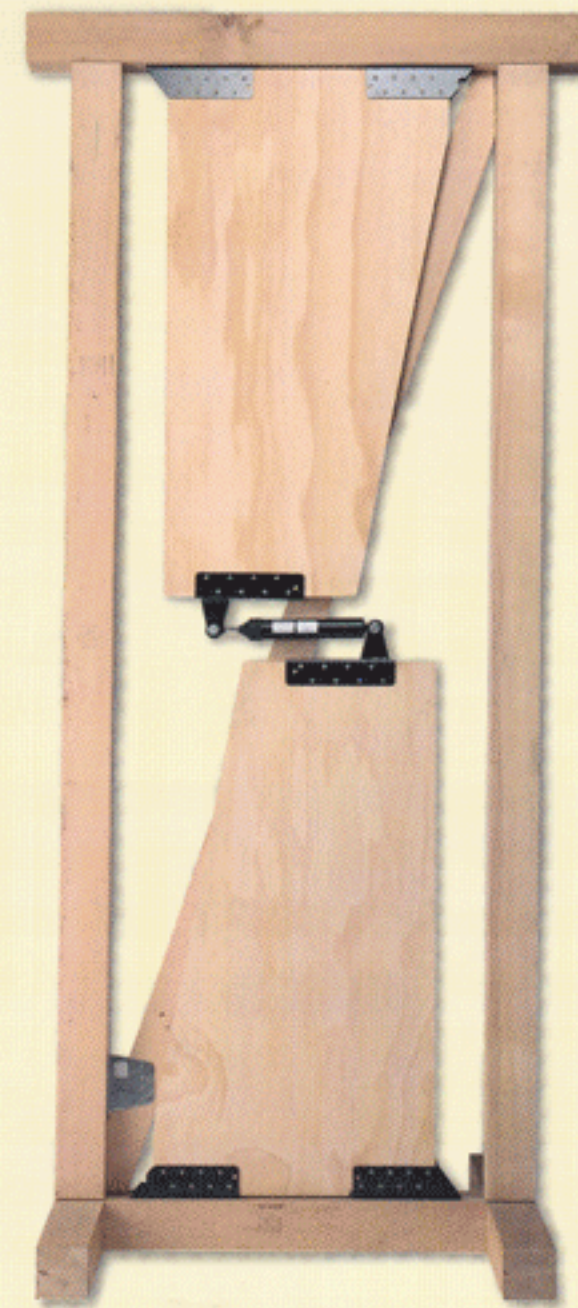


地震対策には  
耐震・免震・制震の  
工法があります。

	耐震工法	制震工法	免震工法
	<p>揺れの軽減率 0%減</p>	<p>揺れの軽減率 20~50%減</p>	<p>揺れの軽減率 85~90%減</p>
建物の揺れ軽減	0%減	20~50%減	85~90%減
軟弱地盤への対応	可	可	困難

新築時は「制震」をおすすめします。

Hiダイナミック制震工法ならオイルダンパを用いた  
制震技術が、**余震** に対しても**強み**を発揮!



住宅用  
「Hiダイナミック制震工法」とは…

安心を  
低価格で  
木造軸組工法・枠組壁工法など  
様々な木造住宅に適用します。  
しかも予算はリーズナブル。

震災時に  
安心を確保  
阪神・淡路大震災を再現した  
実験において建物の揺れ  
(1階・2階間の揺幅)を軽減。

施工が  
簡単  
壁の中に組み込むだけの  
簡単施工です。  
特殊な施工道具も必要としないので、  
施工性に優れています。

メンテナンス  
フリー  
新築時の建物の壁の中へ  
組み込むだけで  
メンテナンス不要です。

制震技術の紹介

豊富な  
採用実績

「Hiダイナミック制震工法」を支える中心技術は、  
鉄道車両や自動車のショックアブソーバ、高層ビルの制震装置など  
多岐にわたり多くの実績を誇る震動制御技術です。  
この技術は、振動制御・地震対策にも優れた技術を誇る日立オート  
モティブシステムズ(株)との共同開発により実現しました。



オイルダンパ



オイルダンパ直径寸法…φ44mm  
土台柱径120mmの場合、新熱材スペース60mmを確保できます。

ビル向けの制震用オイルダンパで培った制震技術と自動車用  
ショックアブソーバの量産技術を応用した住宅用制震装置  
「Hiダイナミック制震工法」